



# 大六小だより

令和 2年 2月28日  
練馬区立大泉第六小学校  
校長 西野 國子  
3 月 号

教育目標 すすんで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

## 思考はいつか運命になる

思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから  
言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから  
行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから  
習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから  
性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから

マザー・テレサ

プラス思考・ポジティブ思考が大切だと言われていますが、「思考はいつか運命になる」という、マザー・テレサの言葉にはっとさせられます。運命をつくるのは自分だということです。であるならば、よい運命、幸せな運命をつくりたいものです。

何か困難に出遭ったときに、「ああ もうだめだ」ではなく、「まだまだこれから」と考えることができるようになれば。子供たちには、プラス思考で温かい言葉を遣い、よい行動で良い習慣をつくり、良い性格になって良い運命をつくってほしいです。

**\*保護者の皆様、地域の皆様、今年度も本校の教育活動にご理解・ご協力いただきましたこと、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。**

## 3月の行事予定 ※(特)は特別時程です。

月	火	水	木	金
2	3	4	5 (特)	6
全校朝会 委員会 避難訓練			安全指導 ひまわり110番 お礼訪問(6年)	
9	10	11	12 (特)	13
全校朝会 (避難訓練予備日)				
16	17	18	19 (特)	20
全校朝会				春分の日
23	24	25	26	27
全校朝会 大掃除 給食最終日 4時間授業(1~4年) 卒業式準備(5年:5校時)	修了式 卒業式予行	卒業式 (5・6年のみ)	春季休業日始	
30	31	4/1	2	3
				春季休業日終 5年生前日準備登校 9:00~12:00頃

来年度の始業式・入学式は4/6(月)です。

## 校内研究

研究主任 細田 和尊

学校で子供たちが過ごす多くの時間は「授業」です。その授業をどのように展開していくのか、どんな教材がいいのか、どうすれば子供たちが生き生きと学ぶことができるのか…などを研究していくのが「校内研究」です。今年度も「主体的に伝え合う児童の育成～文学的文章の指導の工夫を通して～」をテーマとし、子供たちが主体的に友達と意見を伝え合い、自分の考えに生かせるようになるためにはどうしたらよいか研究を進めてきました。普段から、「ペアでのスピーチ」を行い、だれとでも話せるような雰囲気のできるようにしてきました。また、授業の中では話合う際「出し合う話合い」「分類する話合い」など、話合いの目的を示し、なんのために話し合っているのか、話合いが最終的にどのようなようになっていけばいいのかが分かるようにしました。このように話し合う環境を整えていくことで、児童たちが活発に話し合えるようになってきました。また、全体で意見を発表する際には、友だちの考えと自分の考えとを関わらせながら聞けるように「ハンドサイン」を活用しました。手の形によって「付け足し」や「質問」を行うことで一つの考えが深まっていくようにしました。友達と考えを関わらせることで新たな考えに気付く姿につながりました。今後も意見を交流しながら、自分の考えに生かしていけるよう、研究を進めていきます。



## 保健室から

小川 真澄

保健室では、来室した児童が自分で身体の様子やけがをした経緯などを話し伝えることを大切にしています。うまく話すことができない場合は、「ほけんしつカード」を用いて、自分の言葉で伝えることができるように指導しています。

低学年の児童ではけがをした時に泣いてしまい、上手に伝えることができない場合もありますが、高学年の児童になると、けがをした経緯・同じけがをしないためにどうすればよいかを自分自身の言葉で伝えられるようになっていきます。

自分の身体のことを相手に伝えることは、健康な生活を送るためにも大切なことです。また、伝える力は保健室に限らず、様々な場面で必要とされている力です。児童からの伝えたい思いを受け止め、相手に伝える力を育てていきます。

## 図書室より

図書担当

今年度も、多くの本が図書室を介して読まれました。電子ブックも増えている昨今ですが、こどもたちのリアルブックへの愛着は根強く、長く読み継がれてきた国内外の昔話の読み聞かせにじっくり耳を傾けたり、文豪の名作シリーズの紹介が貸出につながったりすることも珍しくありません。

今年度は、西野校長先生のお声かけで有志の装飾チームが生まれ、図書室を魅力的に変えてくれました。また、古本市や図書購入への立ち合いなど、図書委員も活躍の場を広げました。

保護者の皆様におかれましても、担任を通じて図書室への声を届けていただければ幸いです。

## コンピュータリテラシー・プログラミング教育

視聴覚担当 徳富 謙一

練馬区の各学校に、大型のモニターと授業用のパソコンが配備されました。プログラミング教育とは、プログラミング的な思考を培うことが目標になります。プログラミング的思考とは課題を解決するために論理的に、順序立てて解決する力です。単なる操作方法に留まらず、プログラミング的な思考能力を育てる学習を進めていくことになります。また、インターネットのマナー、著作権、SNSの使い方なども身につける必要があります。大六小では、5年生を対象に情報モラル講習会を開き、ネットのマナーなどを学習しました。ご家庭におかれましては、家庭でのパソコンや携帯の使い方のルールを決めていくことが大切です。是非ご家族でお子さんと話し合ってください。